

一般社団法人日本非開削技術協会 森田 弘昭 会長

私ども一般社団法人日本非開削技術協会は本日、公益財団法人日本推進技術協会（中谷泰之会長）とともに、埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没を受けて設置された国の対策委員会の第2次提言を踏まえ、非開削工法を活用して管路の二条化（複線化）や別の幹線などとの連絡管の整備などを進め、国土強靱化をスピードアップし国民不安の早期解消を図ること、非開削工法関連の市場拡大及び人材確保促進を目的として、国土交通省へ、非開削工法を活用した対策の推進に関する提案活動を実施致しました。

提案書は石井宏幸・上下水道審議官に受け取って頂き、その際に上下水道審議官からは「人口や交通量の多い都市部における下水道の整備には推進工法などの非開削工法の活用が欠かせない」「今後、老朽化対策を含めた下水道の整備に非開削工法をより一層活用していくよう、国としても、下水道事業の予算確保や各下水道管理者の取組みの支援に取り組んでいきたい」旨のコメントを頂きました。

本日の提案活動が、国土強靱化の進展と非開削工法の一層の活用の後押しになれば幸いです。